



天城山系の清流で育まれた「ワサビ」や「アユ」などは、全国でも有名なジオフードです。



伊豆の国ビジターセンター
田京駅から徒歩 10分



Izunokuni 伊豆の国

私とジオ

伊豆半島全体の盛り上がり期待!



旅館業
山口 倫子さん

「温泉」は何と言っても大地からの大きな大きな恵み。伊豆半島に伊豆長岡温泉や修善寺温泉など数多くの温泉場があるのも、母なる大地のおかげです。伊豆半島ジオパークが世界ジオパークネットワークへ加盟すれば、世界遺産の韮山反射炉と併せ、半島全体が盛り上がることまちがいない。良い結果を期待しています。また、いたるところに変わった地形がある伊豆半島は、遊び場が多く子育てにも最適。私も子どもを連れて、葛城山や丹那、源兵衛川などへよく遊びに行きました。



城山の雄大な姿に見守られ

伊豆長岡源氏山「七福神めぐり」と小坂みかん狩りウォーク

とき 10月17日(土) スタート受付 8:30~11:00
ゴール受付 15:30まで

コース 約12km(約2時間40分)

スタート(伊豆長岡駅)→よりもの足湯(湯元公園)→七福神めぐり(源氏山ほか)→狩野川リバーサイドパーク→小坂みかん共同農園→狩野川堤防→みんなのHawaiians道の駅伊豆のへそ(ビジターセンター)→ゴール(田京駅)

湯元公園隣の狩野川放水路。実はこれもジオポイントのひとつ。ちょっと足を延ばしてみても…。有名プロ野球選手がトレーニングに登頂した城山は、狩野川とのセットで絶景度アップ!



北江間横穴群
(北江間)

主なジオポイント



地震動の擦痕
(南江間)



狩野川放水路
(欄之上~沼津市口野)



伊豆半島ジオをもっと知る

インターネット

伊豆半島ジオパーク推進協議会
公式ホームページ

<http://izugeopark.org/>



(QRコード)

公式アプリ
「GeolZU」



ビジターセンター



ビジターセンターとは、ジオの魅力を知ることのできる案内所です。半島内には10カ所のセンターがあります。

- ▶三島(三島駅南口から徒歩1分)
- ▶伊豆の国(田京駅から徒歩10分:道の駅内)
- ▶天城(修善寺駅から徒歩40分:道の駅内)
- ▶河津七滝
- ▶松崎
- ▶南伊豆町
- ▶東伊豆
- ▶伊東
- ▶下田
- ▶沼津

平成28年4月、ジオミュージアム(仮称)が修善寺に完成予定!

パンフレット



ドライブマップ・伊豆ジオめぐりなど(ビジターセンターに配架)

知



達磨山の噴火を実感！

修善寺もみじまつりと歴史・文化散策

とき 12月5日(土) スタート受付 8:30~11:00
ゴール受付 15:30まで

Aコース 約14km(約3時間40分) スタート(修善寺駅)
→修善寺総合会館→修善寺温泉街^{ジオ}→修善寺自然公園
→湯舟口→^{奥の院}→ゴール(独鈷の湯公園)

Bコース 8.5km(約2時間10分) スタート(修善寺駅)
→修善寺総合会館→修善寺温泉街^{ジオ}→修善寺自然公園
→ゴール(独鈷の湯公園)



主なジオポイント



ジオ
情報

^{奥の院} 修善寺温泉街周辺では、約100万年前から達磨山が噴火を繰り返してきた痕跡を見ることができます。「奥の院」にある溶岩流の層でできた「阿吽の滝」は必見！

私とジオ

ジオを広めるために

私は、自然科学部で伊豆半島ジオパークを広める活動をしています。ジオパークに興味を持ったのは、テレビで特集を見たことでした。伊豆半島ジオパークのすごいところは、世界ではほとんど例のない島弧の衝突でできた半島だということです。

こうした伊豆半島ジオパークの良さを広めるためにリーフレットやカルタなどの教材を作成しています。現在は、年齢を問わず誰でも楽しむことができる「ジオスゴロク」を作っています。また、活動成果を6月の世界ジオパークネットワークによる現地審査で発表しました。世界加盟を機に、皆さんが伊豆半島ジオパークに興味を持ってもらえたら、うれしいです。



伊豆総合高校2年
大木 雄一朗さん

修善寺

ジオミュージアム(仮称)
平成28年4月オープン予定
修善寺駅からバスで10分



大仁

牧之郷

GEO
FOOD

伊豆の国市の特産である「イチゴ」も実はジオフード。ほかに「ダイコン」や「スイカ」など、火山がもたらした豊かな土壌で育てた野菜や果物も自慢のジオフードです。



世界ジオパークネットワークへの加盟は、伊豆半島の魅力を世界へ発信する大きなチャンスです。

加盟のカギとなるのは、地域に住む私たちの活動です。

地域の資源をどのように活用し、保全しているか、そして地質的な価値だけでなく、人の活動に着目することが、ジオパークの考え方の特徴です。

世界に誇れる大地に住んでいる私たち。自分たちの大地を学び、魅力を知って、もっと伊豆半島を盛り上げていきましょう。

伊豆半島から世界へ、みんなでジャンプ！！

